

環境大臣御挨拶



環境大臣

小泉 進次郎

皆様方におかれましては、日頃から環境行政の推進に御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

また、この度、「循環型社会形成推進功労者等表彰」等を受賞されました皆様にお慶び申し上げますとともに、浄化槽の設置、保守点検、清掃等の業務に長年尽力された皆様の御功績に対して、心から敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

環境省は、本年、環境庁創設から50年という節目の時期を迎える中、コア・ミッションとして、脱炭素社会、循環経済、分散型社会への「3つの移行」を目指した「時代の要請への対応」と、人の命と健康を守るという「不変の原点の追求」という2つを位置付けました。浄化槽は、どちらにも関係する重要なものです。

第1に、「不変の原点の追求」として、浄化槽の維持管理は、国民の安定的な生活の確保や社会の安定の維持のため、また、地域の生活環境の保全・公衆衛生の向上のために不可欠です。我が国では、未だ約1,000万人が単独処理浄化槽や汲み取り便槽を使

用しており、生活排水が未処理となっています。このような状況から、昨年の高知での浄化槽トップセミナーで、私は、設置費用が「安い」、設置するのが「早い」、災害に「強い」の3つをPRしました。そして、今年は、うれしいニュースをお届けしたいと思います。最新の調査結果で、皆様のご尽力のおかげで、合併処理浄化槽が単独処理浄化槽の数を初めて上回りました。さらに、今年度より、公共浄化槽の長寿命化のための改築費用を新たに助成対象としました。「良い」浄化槽を、「長く」使っただけだとはいえません。

また、世界全体が新型コロナウイルスと戦っている中、皆様が業務を継続して下さることが、この未曾有の困難の克服につながり、国民生活の大きな支えにもなると信じています。新型コロナウイルスの感染拡大が続き、感染に対する不安がある中でも、日々、社会のインフラを支える力としてご活躍いただいていることに深く感謝いたします。

第2に、「時代の要請への対応」として、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、浄化槽分野においても脱炭素化の一層の取組が期待されます。できる限り、再エネで動く省エネ型の浄化槽の普及に向け、皆様とともに取り組みたいと思います。そのためには、消費者が再エネの電力プランを選ぶことも必要であり、環境省も再エネの普及やライフスタイルの転換の促進に取り組むことを期待しています。

さらに、菅政権は、グリーンとデジタルを新たな成長の原動力として政策を強力に進めてまいりました。どちらも世界的な大競争が起きている分野です。浄化槽分野においても、デジタルの活用として、環境省版浄化槽台帳システムを開発し、本年4月より全国の自治体に配布するなど、自治体の台帳システム作成支援を進めています。官民を挙げた浄化槽関係情報のデジタル化による適切な浄化槽の維持管理や、災害対策への一層の活用を期待しています。

引き続き、皆様とともに、浄化槽の普及拡大に全力で取り組んでまいります。

最後に、皆様方の今後の益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。